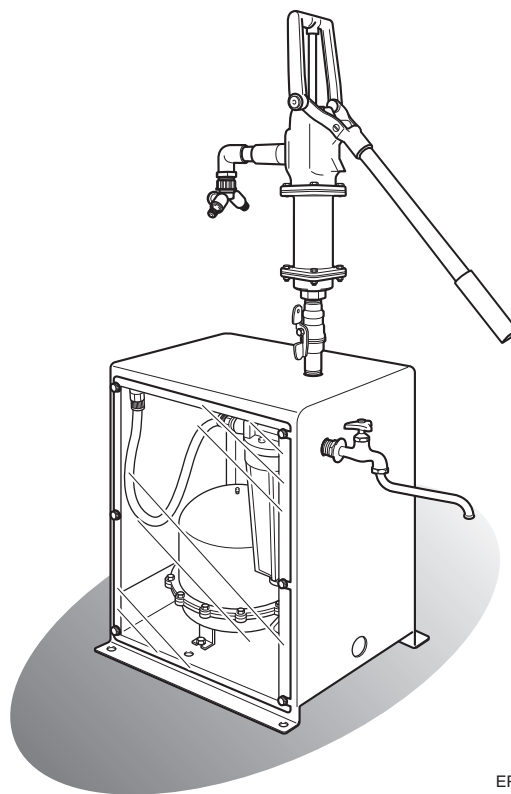


家庭用緊急浄化装置

レスキューエース® EPUG 形

取扱説明書

このたびは、家庭用緊急浄化装置をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



EPUG001

目次

はじめに	安全上のご注意……………	2
	はじめにご確認ください……………	3
	使用できる環境・条件……………	4
	各部の名前……………	5
準備	組立・据付・配管のしかた……………	7
	使用前の準備……………	10
使い方	平常時の使用……………	14
	手動で水を汲み上げる（緊急時）……………	15
メンテナンス	保守・点検……………	18
	消耗部品の交換……………	19
	故障かな？と思ったら……………	23
	製品仕様……………	裏表紙



安全上のご注意

本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。

「警告」、「注意」が示す危険度の内容

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容。

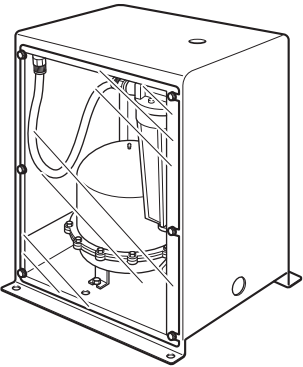
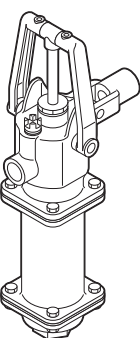
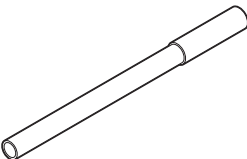

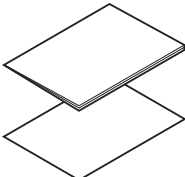
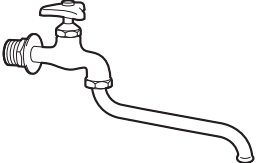
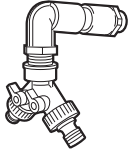


特に注意していただきたいこと

- 本製品は、緊急時に井戸などを浄化する装置です。はじめに水源の水質検査を実施して、緊急浄化装置の使用範囲内の水質であることをご確認ください。
- 飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき、試運転により浄化した処理水の水質検査を実施してください。
- 急な災害に備え、定期的に水源の水質を検査することをお奨めします。ただし本製品では、一般細菌、大腸菌は除去出来ませんが、毒物、重金属等は除去できません。
- 決められた環境・条件以外では使用しないでください。性能不良や作動不良の原因になります。
- 据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。据付が不完全な場合、性能不良、落下によるけがの原因になります。
- 小さなお子様がご使用の際は、必ず保護者が同伴し、危ない使い方をしないようにしてください。
- 配管を水道管に接続しないでください。井戸水が水道管に混入して水道水が汚染される危険があります。

はじめにご確認ください

製品がお手元に届きましたら、下記項目を調べ、不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご連絡ください。

- ・ご注文通りの製品か、銘板を見てご確認ください。
- ・輸送中に破損した箇所や、ボルト、ナットなどのゆるみはないか、ご確認ください。
ゆるみがある場合は増し締めをしてください。
- ・梱包箱の中に下記の内容物が全て入っているか、ご確認ください。

本体	手押しポンプセット（ドラゴン HDS 形）	
 <p>EPUG002</p>	 <p>ポンプ本体</p>  <p>ハンドル</p>  <p>めすおすエルボ (本製品では使用しません。)</p>  <p>取扱説明書 保証書</p> <p>EPUG003</p>	
給水栓	ボール弁（2バルブ継手）	配管 25
 <p>EPUG004</p>	 <p>AB001</p>	 <p>EPUG006</p>
ピュア（薬液）		
 <p>EPUG007</p>		

はじめに

使用できる環境・条件

本製品は、下記表に示す環境・条件下でご使用ください。使用する水源(井戸等)が下記条件を満たしているか不明な場合は、保健所に水質検査を依頼されることをお奨めします。(水質検査の詳細についてはP.13を参照してください。)

△注意

- 決められた環境・条件以外では使用しないでください。性能不良や作動不良の原因となります。

<本製品を使用できる環境・条件>

水源	井戸水
液質	pH 5.8 ~ 8.6、砂(細砂 0.3mm 以下)の含有量 50mg / ℓ 以下
液温	5 ~ 40℃ (凍結なきこと)
設置場所	屋内・屋外
周囲温度	5 ~ 40℃
湿度	90%以下
吸込条件	吸上全揚程: - 8m 以内
押上条件	押上全揚程: 15m 以内

<本製品で浄化できる水質>

水質項目	水質基準	備考
外観	異常でないこと	浄水器のフィルタにより粘土粒子を除去
濁度	2度以下	原水濁度: 30度以下
一般細菌	100個/mL以下	MF フィルタによる除去、塩素滅菌
大腸菌(O-157等)	不検出	
クリプトスポリジウム	—	MF フィルタによる除去

<本製品で浄化できない主な水質>

水質項目	水質基準	備考
硝酸態窒素	10mg/L以下	除去機能はありません
亜硝酸態窒素	10mg/L以下	
鉄イオン	0.3mg/L以下	
マンガンイオン	0.05mg/L以下	
塩化物イオン	200mg/L以下	
色度	5度以下	
硬度	300mg/L以下	
pH(水素イオン濃度)	5.8~8.6	調整機能はありません
農薬、毒物、重金属	—	除去機能はありません

※ 上記の他、浄化できる水質以外については、保健所等へご確認ください。

<本製品と組み合わせて使用できる取水ポンプ>

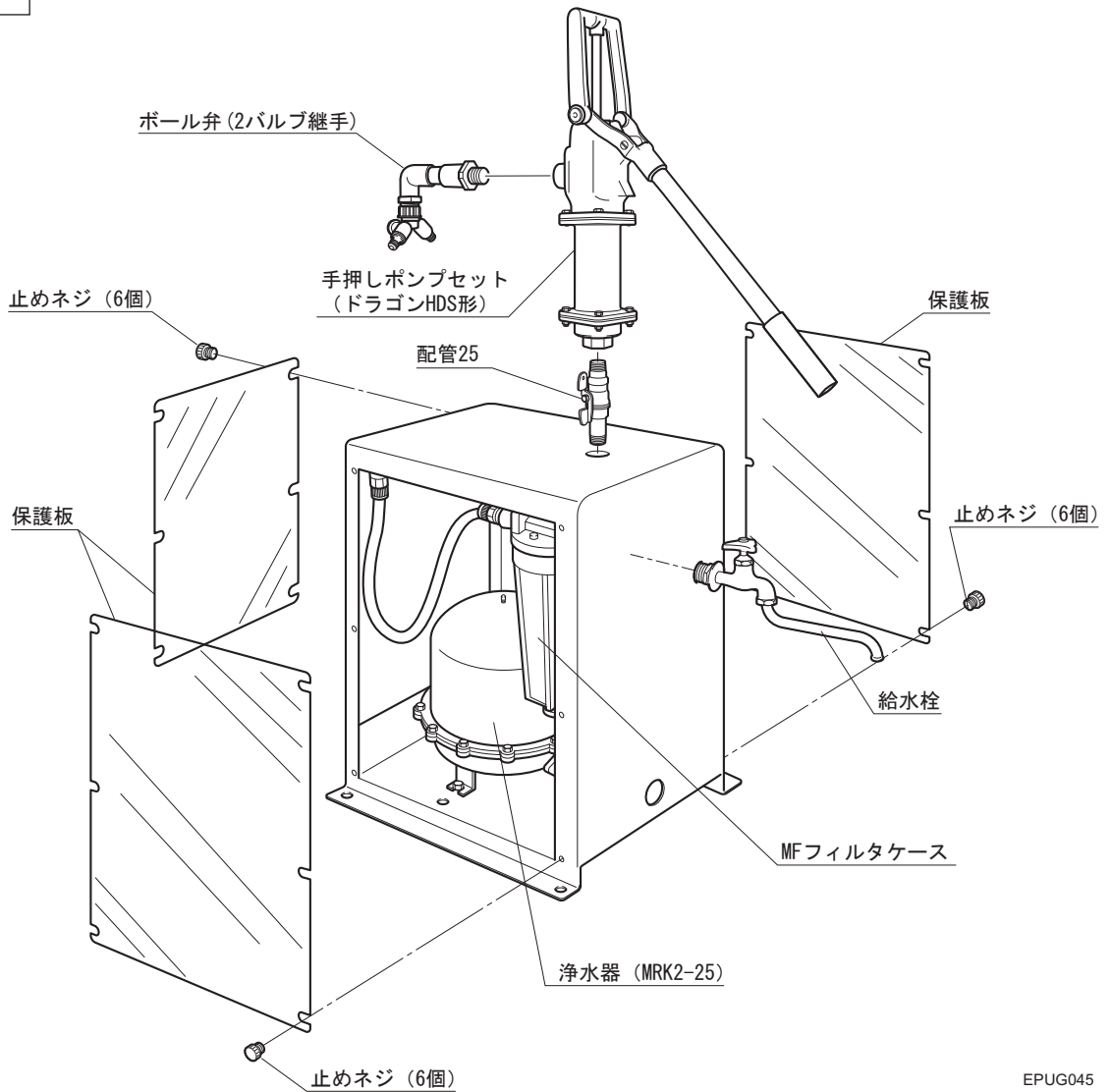
本製品と組み合わせて使用する取水ポンプには、陸上設置タイプの浅井戸用自動給水ポンプをお選びください。

推奨ポンプ: NEWソフトカワエース NF2, カワエース N3

※ ジェットポンプや水中ポンプは使用できません。

各部の名前

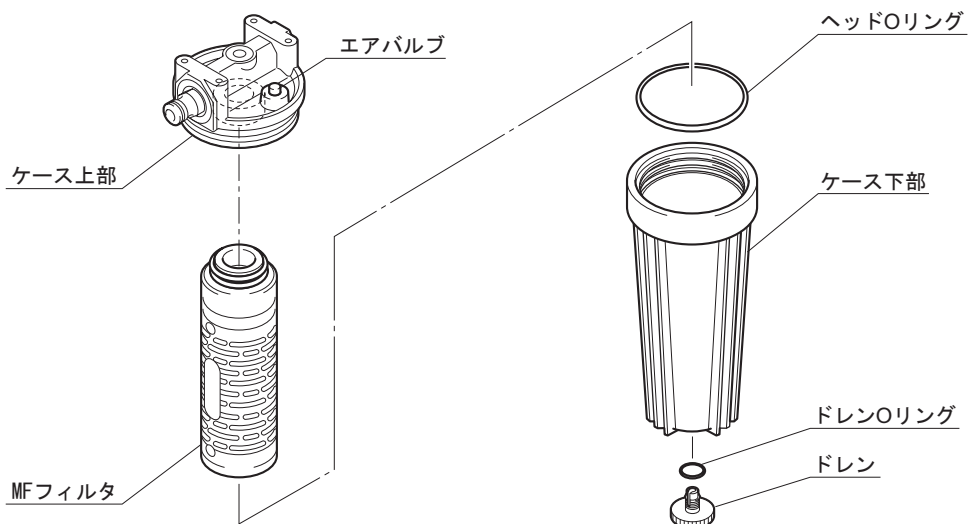
製品全体図



EPUG045

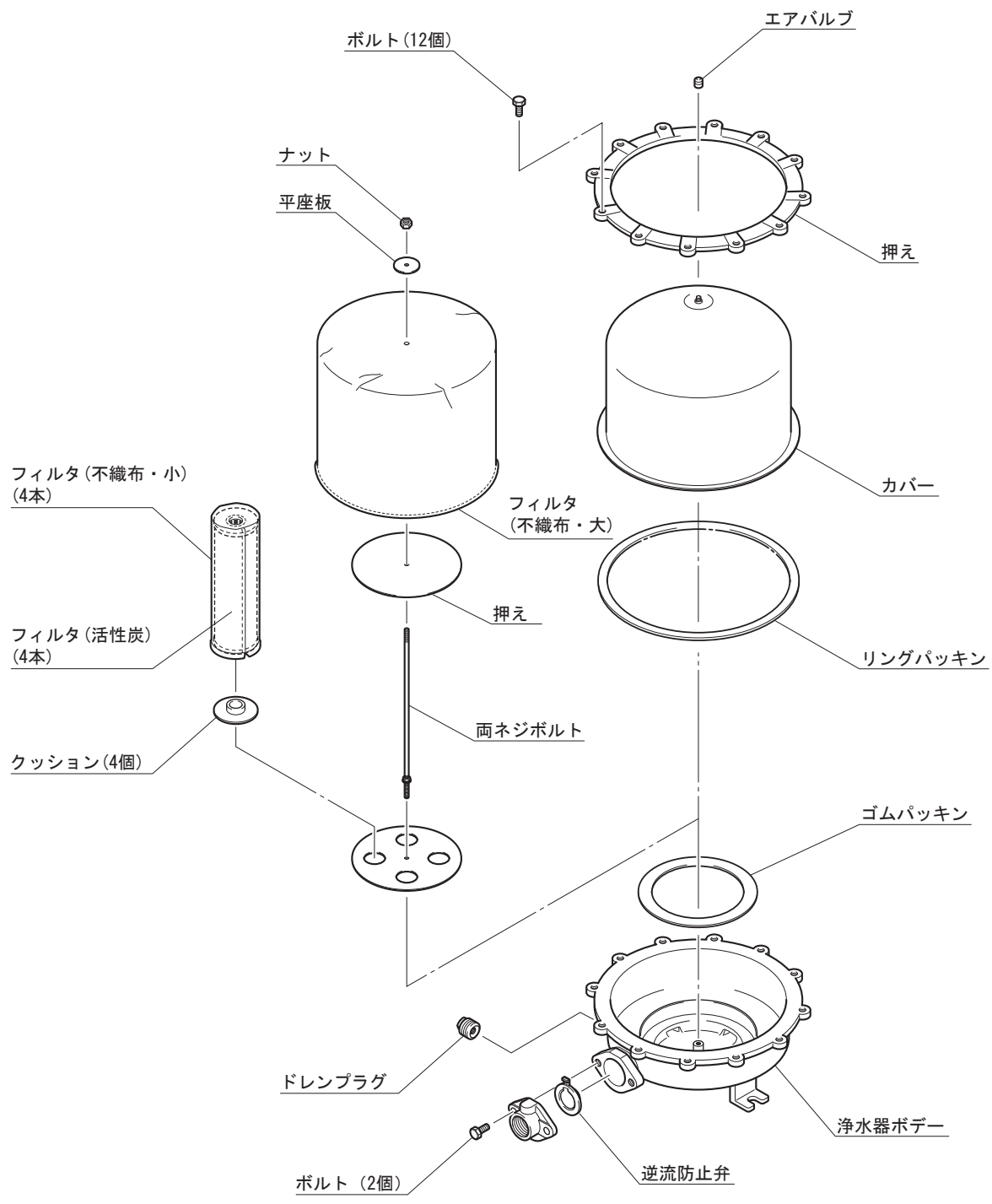
はじめに

MFフィルタケース



EPUG011

浄水器(MRK2-25)



MRK013

はじめに

組立・据付・配管のしかた

⚠警告

据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。据付が不完全な場合、性能不良がおきたり、ハンドルやポンプ本体が外れてけがの原因になります。

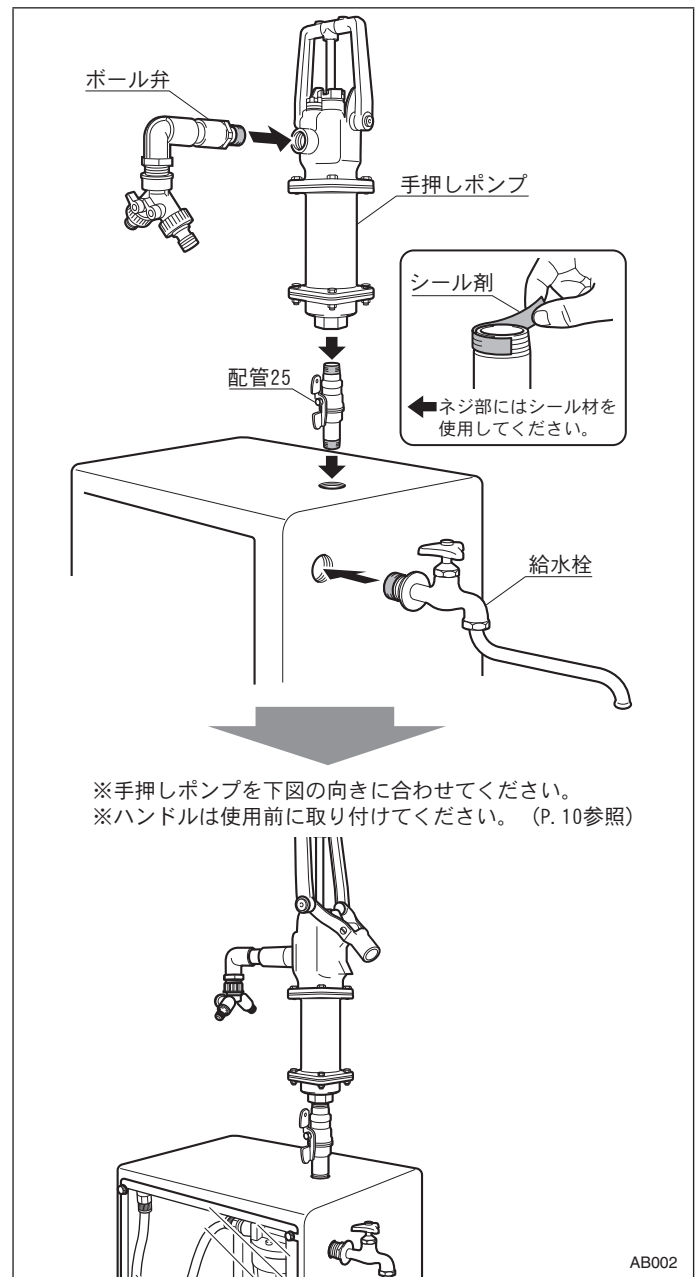
⚠注意

- 据付前に必ず井戸の清掃、配管内外部に付着した砂等の異物を除去してください。砂等の異物を吸上げますと、砂噛み等により揚水できなくなることがあります。
- 配管を水道管に接続しないでください。井戸水が水道管に混入して水道水が汚染される危険があります。

以下の説明に従って組立・据付・配管を行ってください。

手押しポンプの組立

図に従って、手押しポンプを本体に取り付けます。



据付

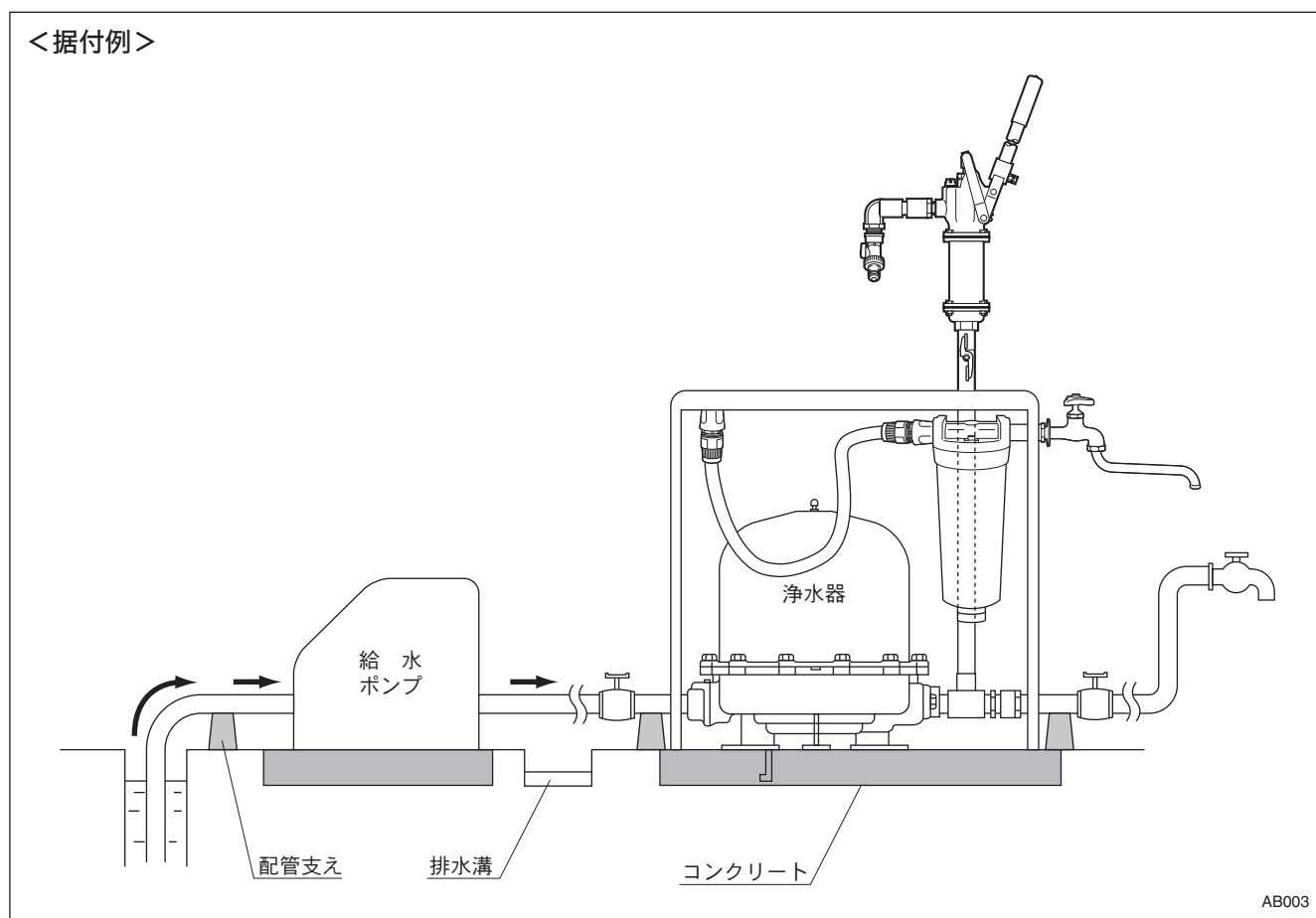
⚠警告

- 圧力 0.28MPa (2.8kgf/cm²) を超えて使用しないでください。破損してけがをする恐れがあります。

⚠注意

- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。浄水器のフィルタ交換時に漏水する場合があります、大きな被害につながる恐れがあります。

<据付例>



AB003

据付には以下の場所をお選びください。

- ・ 台風などによる風雨に直接影響を受けない場所
- ・ 風通しがよく、直射日光の当たらない涼しい場所
- ・ 漏水した場合に排水が容易にできる場所 (排水溝の近く等)

以下の事項に従って据え付けてください。

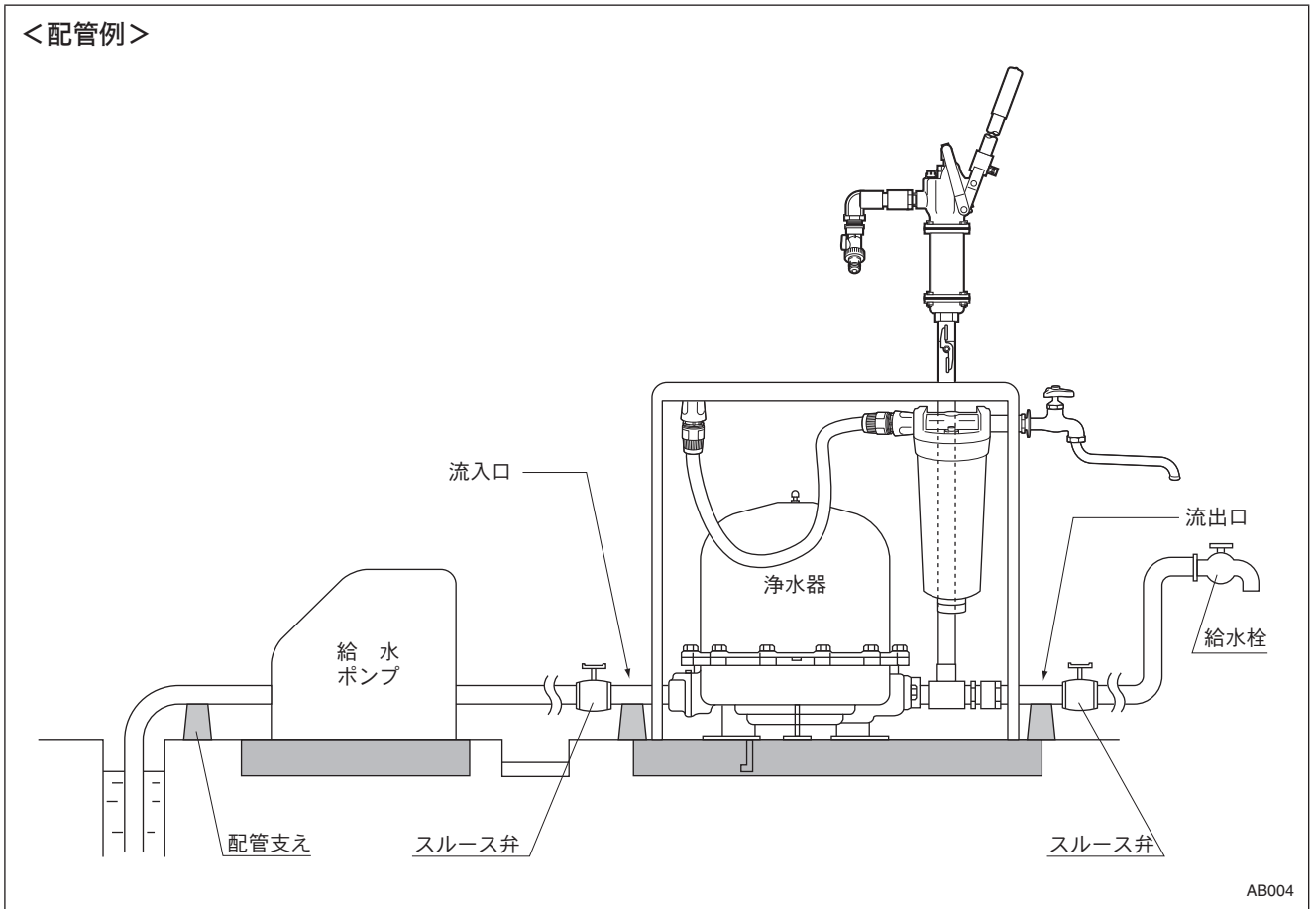
- ・ コンクリートまたはブロックで基礎をつくり、水平に設置してボルトで固定してください。基礎用ボルトは付属しておりません。市販品をご使用ください。
- ・ 点検・修理が容易にできるスペースを確保してください。
- ・ 浄水器を給水ポンプの吐き出し側に据え付けてください。
- ・ 配管の重量によって給水ポンプと本製品に負荷がかからないように、配管支えを設置してください。

配管

△注意

- 配管の締め付け部は確実に締めてください。また、ネジ部にはシーリング剤を使用してください。水漏れの原因になります。

<配管例>



- ・流入口、流出口をお確かめのうえ、配管してください。
- ・メンテナンス用に、流入口側と流出口側にそれぞれスルース弁を取り付けてください。
- ・接続配管には鉄管を使用しないでください。赤さび発生の原因になります。

防寒対策

△注意

- 凍結の恐れがあるときは、凍結を防止する措置をとってください。
※凍結による破損事故については責任を負いかねますので、凍結防止対策を確実に行ってください。

使用前の準備

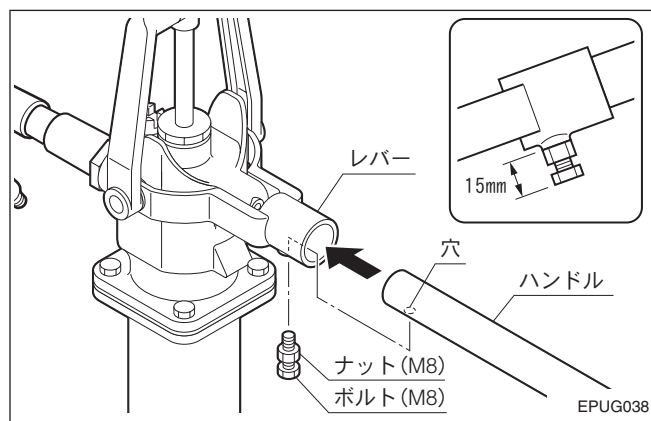
本装置は、災害時などで水道水および電動ポンプが使用できなくなった場合に、手動により井戸水を汲み上げて飲料水に浄化する装置です。災害はいつ起こるかわかりません。ここでは、本製品をいつでもすぐに使える状態に準備し、さらに本装置で浄化およびろ過した水が飲料水として適しているかを確認するまでの手順を説明します。下記手順に従って、すぐに準備をはじめてください。

警告

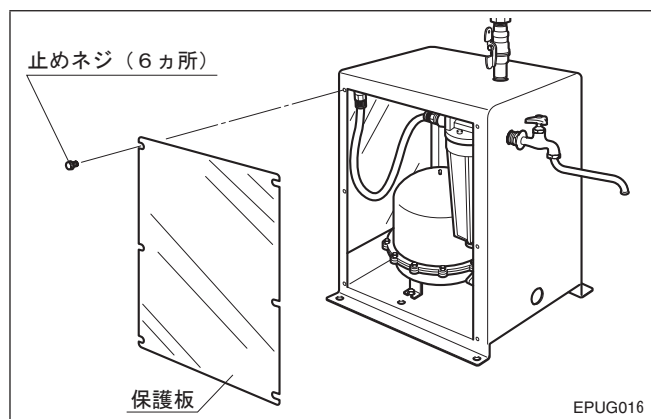
- 飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき、試運転により浄化した処理水の水質検査を実施してください。
- 配管先（給水栓）が閉まっている状態でポンプを使用しないでください。ハンドルの急激な戻りでけがをする恐れがあります。

1 手押しポンプの準備

- 1 手押しポンプにハンドルを取り付けます。
※ 詳細は手押しポンプ（ドラゴン HDS 形）の取扱説明書をご覧ください。

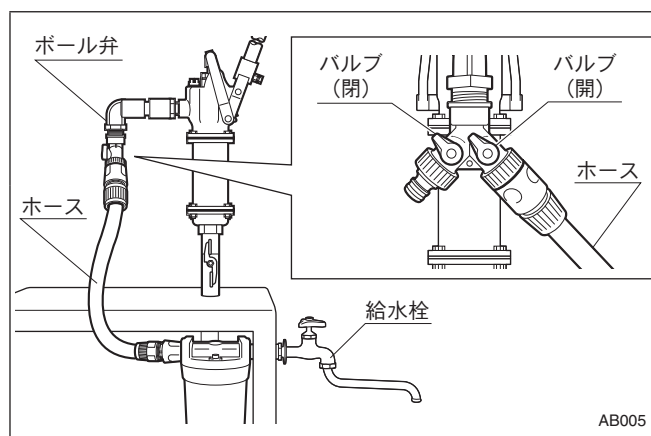


- 2 止めネジ（6カ所）を外して保護板を取り外します。



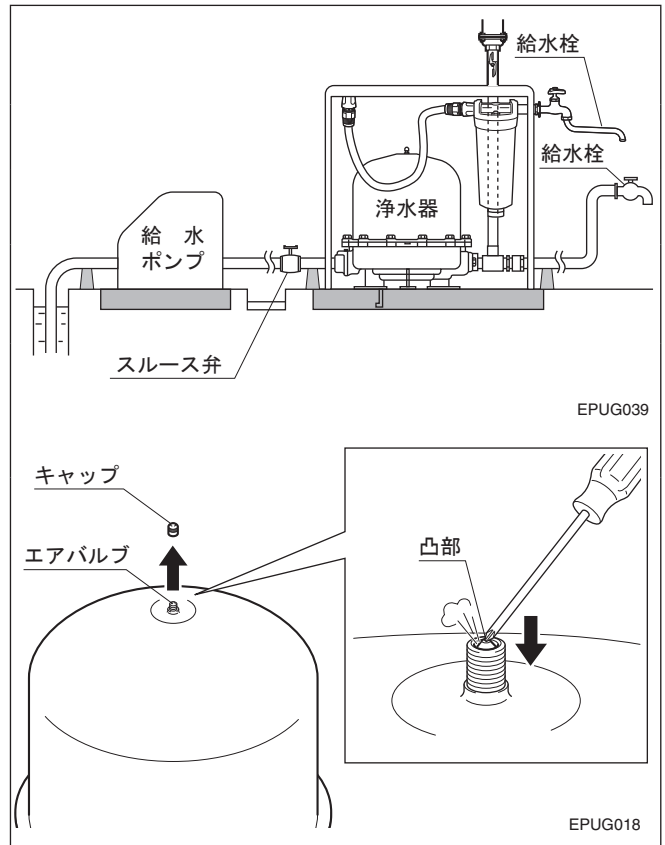
- 3 ホースをボール弁の継手（どちらか一方）に接続します。
※ 「カチッ」という音がするまで、ホースを確実に接続させてください。

- 4 ホースと接続した側のバルブを開（ON）、接続していない側のバルブを閉（OFF）にします。

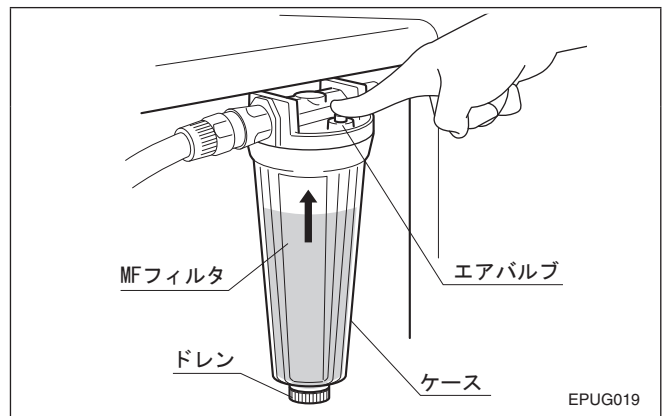


2 浄水器 / MF フィルタの排気

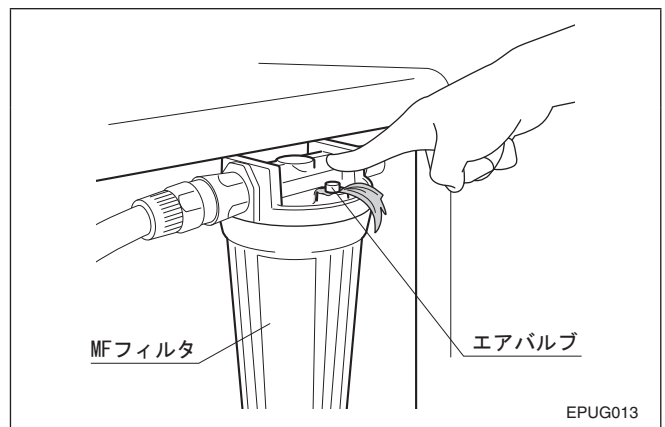
- 1 本装置に接続したスルース弁、給水栓を全て閉じます。
- 2 給水ポンプの電源を入れます。
- 3 給水ポンプが自動的に停止するのを確認します。
- 4 スルース弁をゆっくり全開し、配管接続部より漏水のないことを確認します。
- 5 エアバルブのキャップを取り外して、凸部を指先またはプラスドライバーの先などで押し、浄水器内の空気を抜きます。
- 6 エアバルブから水が出てきたら、キャップを元通りに取り付けます。



- 7 次に、MF フィルタのケース下側のドレンが閉じていることを確認します。
- 8 エアバルブを押しながら揚水し、ケース内を水で満たします。
 - ・エアバルブを押すと、ケース内に水が入り込み空気が出てきます。



- 9 エアバルブから水が吹き出したら、ただちに手をはなしてエアバルブを閉じます。
- 10 給水ポンプの電源を切ります。



準備

3 揚水

※給水ポンプの電源が切れていることを確認してください。

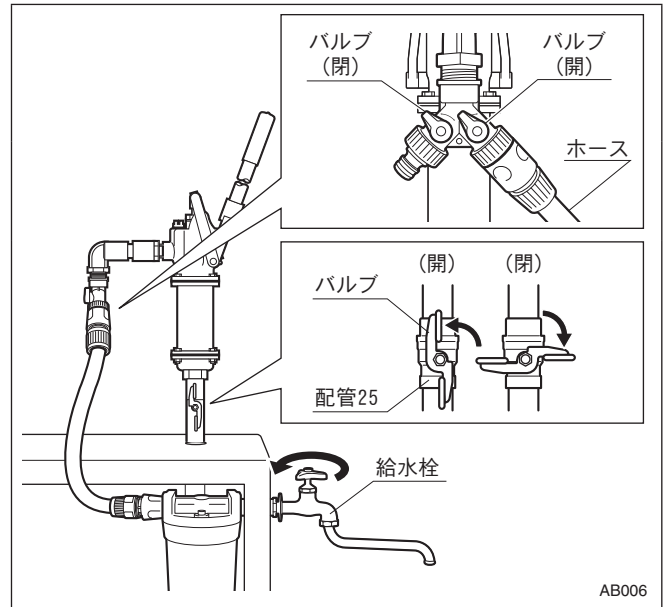
※揚水についての詳細は、手押しポンプ（ドラゴン HDS 形）の取扱説明書をご覧ください。

1 配管 25 のバルブが開（O）状態であることを確認します。

※閉（S）になっている場合は、開（O）にしてください。

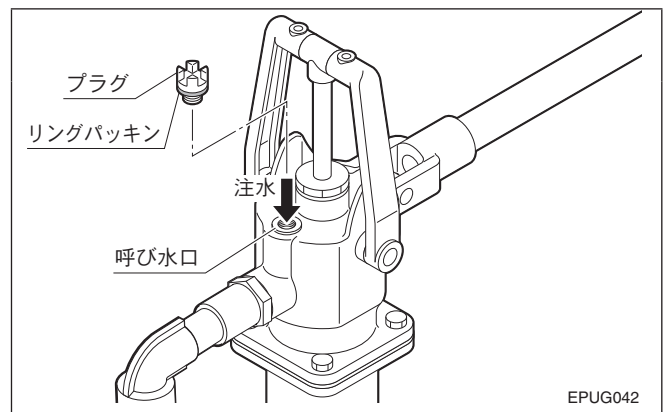
2 ボール弁の、ホースが付いている側のバルブを開（ON）にします。

3 給水栓を開けます。



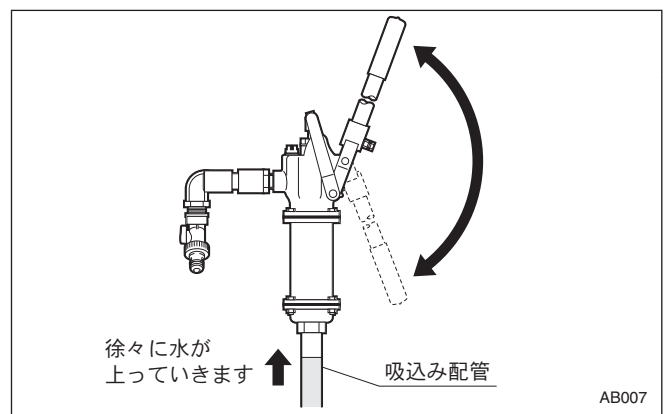
4 手押しポンプの呼び水口のプラグを取り外して注水します。

5 呼び水口から水があふれ出すまで注水したら、プラグを確実に締めます。



6 ハンドルを上下に動かして揚水します。

7 給水栓から水が出てきたことを確認した後、給水栓を閉じます。



4 水質検査

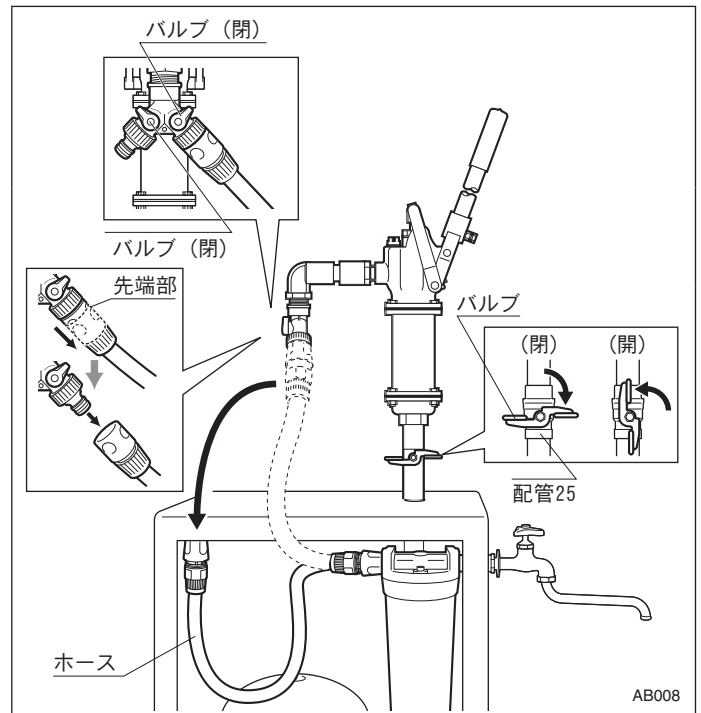
- 1 揚水を続け、MF フィルタを通り給水栓から出てきた処理水をポリタンク等に受けます。
- 2 下記の注意事項をお読みの上、保健所等に水質検査を依頼してください。

<保健所に水質検査をご依頼される場合の注意事項>

- (1) 水質検査（化学試験・細菌試験）は、原水と処理水を同時に検査することをお奨めします。
- (2) 厚生労働省令第百一号（平成十五年五月三十日公布）の水質基準に関する省令に準拠した 50 項目の水質検査を実施し、水質基準の適合をご確認されることをお奨めします。
- (3) 細菌試験をされる場合
 - ・細菌試験の採水容器は保健所で除菌したものをご使用ください。
 - ・細菌が付着しないように、容器や栓の内側には、手などを触れないでください。
 - ・容器が汚染されないように、短時間で採水し、すぐに保健所に依頼してください。
- (4) その他、水質検査方法については、最寄りの保健所にご相談ください。

5 ホースの取り外し

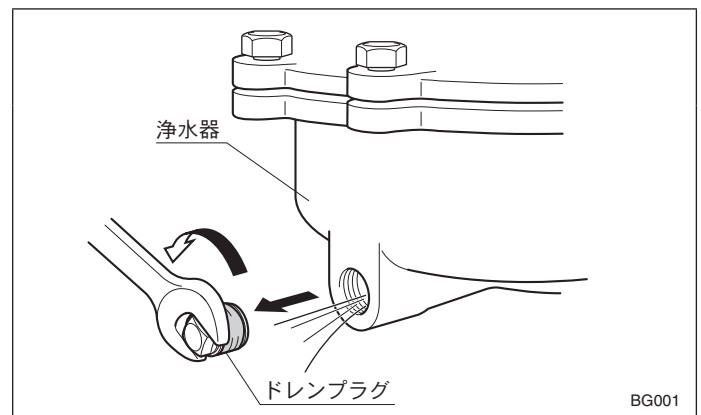
- 1 配管 25 のバルブを閉（S）にします。
※ 手押しポンプを使用しないときは、ポンプ上部のパッキンからの水漏れを防止するため、直管のバルブを閉（S）状態にしておいてください。
- 2 ボール弁のバルブを両方とも閉（OFF）にします。
- 3 ボール弁からホースを外し、本体側へ取り付けます。
 - ・ホースを外すときは、はじめにホースの先端部を下にずらしてロックを解除し、そのままホースを抜き取ります。



6 排水

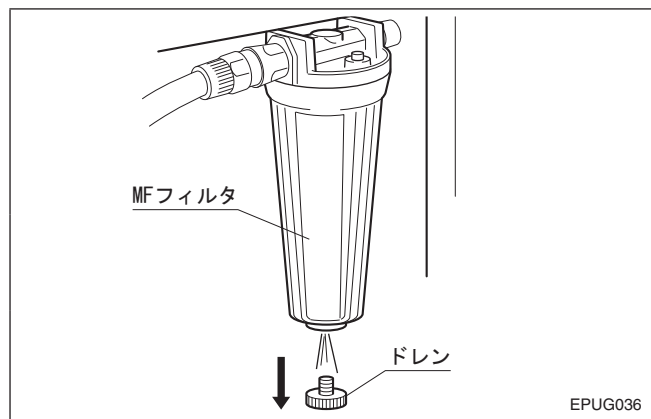
※給水ポンプの電源が切れていることを確認してください。

- 1 ドレンプラグを取り外して、浄水器内の溜まり水を排水します。
- 2 排水が終わったら、ドレンプラグを元のとおりに取り付けます。



準備

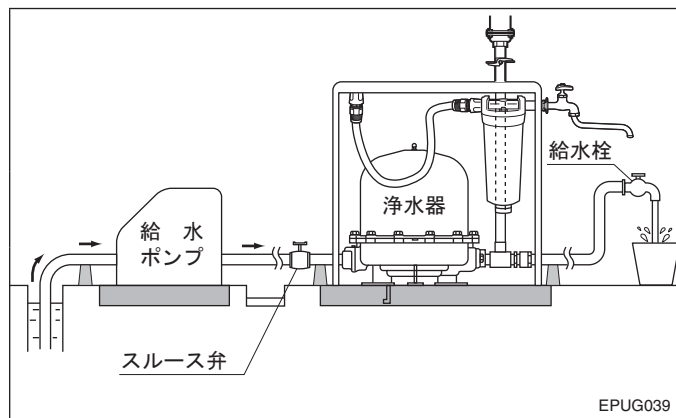
- 3 ドレンを取り外して、MFフィルタ内の溜まり水を排水します。
※ MF フィルタを長い間使用しない場合は、次に使用する前に MF フィルタを交換してください。
- 4 排水が終わったら、ドレンを元のおりに取り付けます。
- 5 保護板を止めネジ(6カ所)で取り付けます。(P.10参照)



平常時の使用

平常時は水道水と電動ポンプが使用できます。通常、井戸水を飲料用以外に使用する場合は下記の方法でお使いください。飲料用として使用する場合は、P.15～16を参照してください。

- 1 配管 25 のバルブが閉 (S) 状態であることを確認します。
※ 開 (O) になっている場合は、閉 (S) にしてください。
- 2 給水ポンプの電源を入れて揚水します。
- 3 給水栓を開いて水を使用します。



ご注意

手押しポンプの使用頻度によっては、手押しポンプの最上部から水漏れが発生することがあります。配管25のバルブは通常開(O)になっていますが、手押しポンプを使用しないときは、水漏れ防止のため、配管25のバルブを閉(S)にしておくことをお奨めします。

手動で水を汲み上げる（緊急時）

電動ポンプが使用できなくなったときは、手押しポンプを使って水を汲み上げてください。汲み上げた水を飲料用に使用する場合と飲料用に使用しない場合とで、本装置の設定のしかたや使いかたが異なります。使用目的に応じて、適切な設定および使用を行ってください。

⚠警告

- ご使用の際には、ポンプの吐出しケーシングとレバー・アームとの間に手指を挟まないように注意してください。けがをする恐れがあります。
- 小さなお子様がご使用の際には、必ず保護者が同伴し危ない使い方をしないようにしてください。
- 配管先（給水栓）が閉まっている状態でポンプを使用しないでください。ハンドルの急激な戻りでけがをする恐れがあります。
- 薬液を目や口に入れたりしないでください。万一、目や口に入ってしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- 薬液を使用後は、幼児の手の届かない場所に保管してください。

⚠注意

- ポンプのハンドルを操作するときは、体重を掛けたり、無理な操作はしないでください。ポンプが破損しけがをする恐れがあります。
- ポンプ内に水のない状態では使用しないでください。ダイヤフラムが摩耗し揚水不良の原因になります。
- 砂や異物を吸込まないでください。揚水不良や作動不良の原因になります。

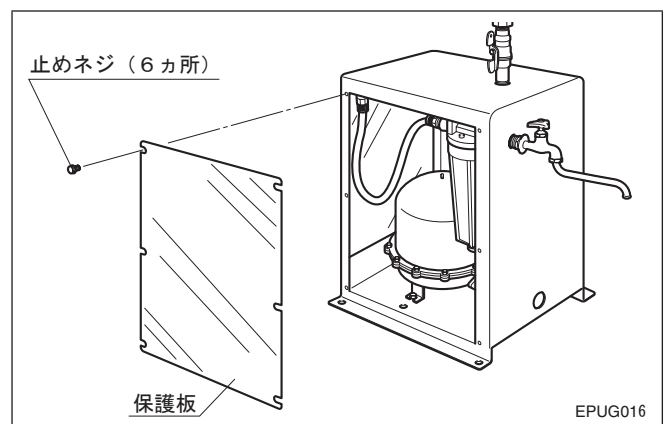
飲料用として使用する場合

水道水が使用できなくなったときは、下記の方法により手押しポンプで汲み上げた水を飲料水に浄化してください。

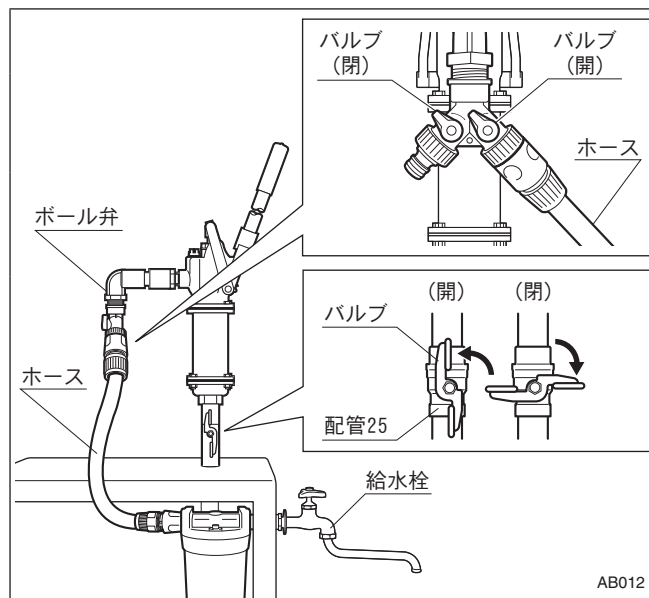
1 準備

※前回の MF フィルタ使用後から長期間が過ぎている場合は、必ず MF フィルタを交換してから使用してください。（MF フィルタ交換のしかたについては P. 22 を参照してください。）

- 1 止めネジ（6カ所）を外して保護板を取り外します。



- 2 配管 25 のバルブを開 (O) にします。
- 3 ホースをボール弁の継手 (どちらか一方) に接続します。
- 4 ホースと接続した側のバルブを開 (ON)、接続していない側のバルブを閉 (OFF) にします。
- 5 給水栓を開けます。



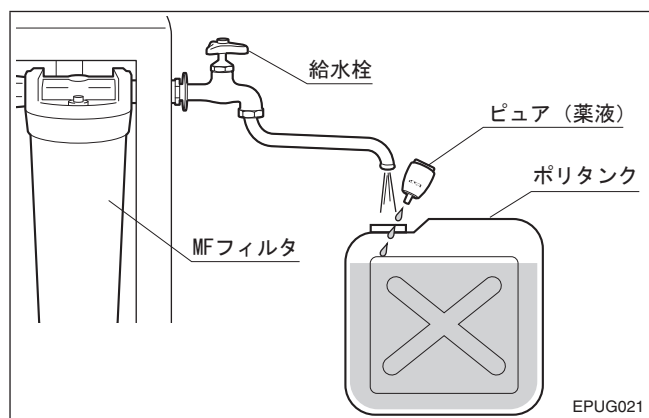
2 揚水

- 1 手押しポンプで水を汲み上げます。(揚水のしかたについてはP.12を参照してください。)
- 2 MF フィルタの排気を行います。(P.11 の手順 7～9 に従ってください。)

3 除菌

給水栓から出た処理水をポリタンクなどで受けて、付属の点滴用 1% 薬液 (次亜塩素酸ナトリウム、商品名:ピュア、15mL 入り) を、水 1L に対し、2～3 滴注入してください。

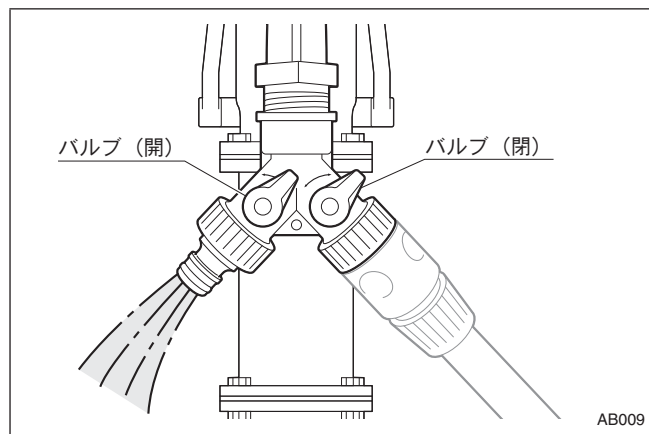
・詳細は薬液に添付された取扱説明書をご覧ください。



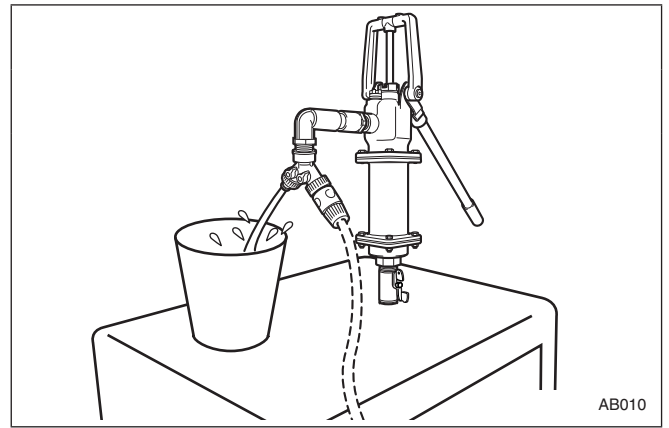
飲料用として使用しない場合

手押しポンプで汲み上げた水を飲料用として使用しない場合は、以下の設定に変えて使用してください。
※接続のしかたは、「飲料用として使用する場合」(P.15) と同じです。

- 1 ボール弁の、ホースを接続した側のバルブを閉 (OFF)、接続していない側を開 (ON) にします。

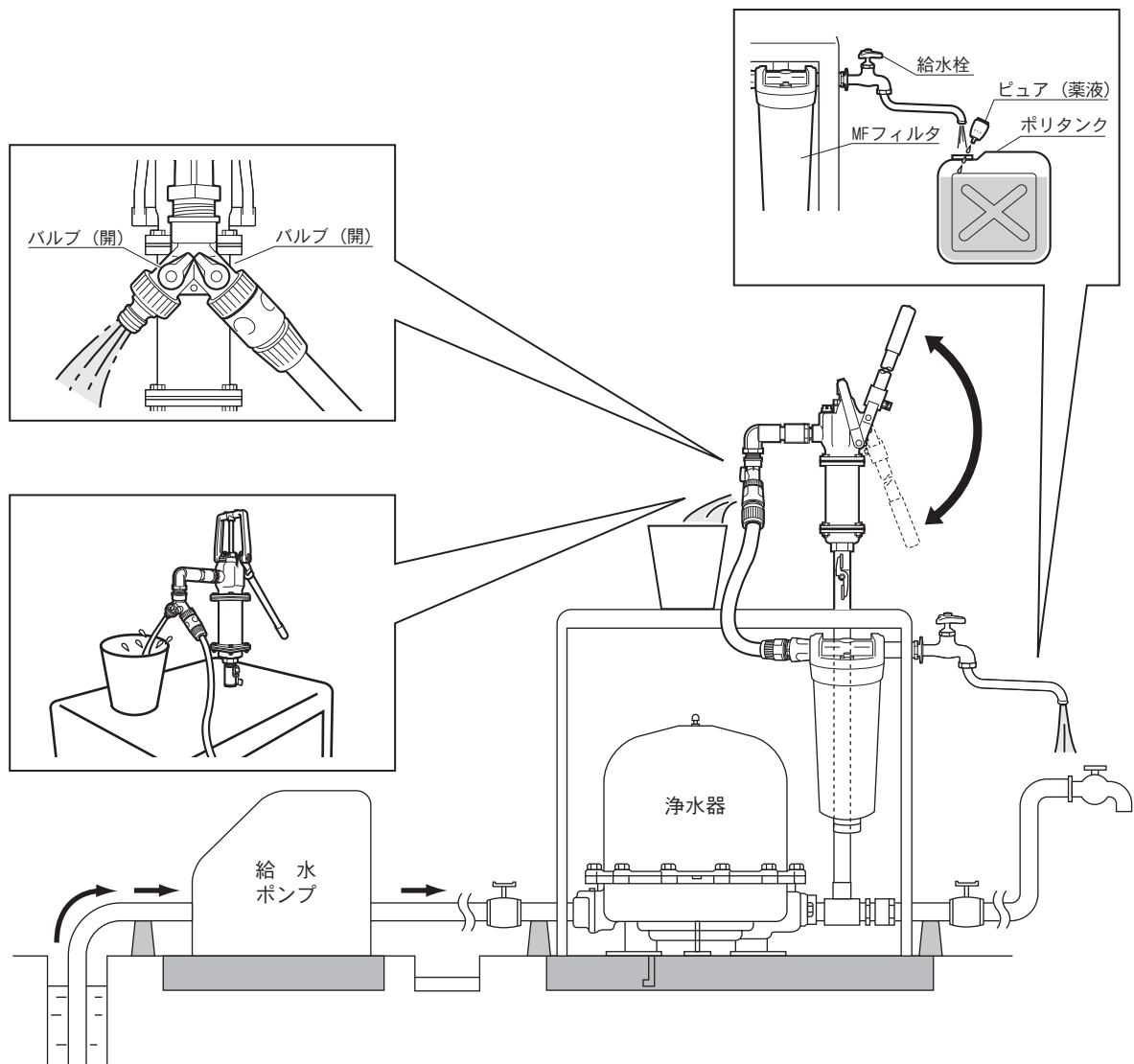


2 汲み上げた水をバケツ等に受けます。



飲料用と飲料用でない水を同時に汲み上げることができます。

※ボール弁の片側にホースを接続し、両バルブとも開（ON）にして水を汲み上げてください。



AB011

保守・点検

⚠警告

- お手入れの際は、必ず接続している給水ポンプの電源を遮断して、電気がきていないことを確認してください。感電やけがをする恐れがあります。

⚠注意

- 性能不良、作動不良がある場合は、すぐに使用を停止して点検・修理をしてください。異常なまま使用を続けたり、修理に不備があると故障の原因となります。
- 冬期にご使用にならない場合は、必ず装置内の水を抜いてください。装置内に水が入ったまま放置すると、ポンプが凍結破損する恐れがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は必ず水を抜いてください。MF フィルタ、浄水器のフィルタなどは通水後、長時間放置すると雑菌などが発生する恐れがあります。(MF フィルタは常時使用する場合を除き、必ず使用することに交換してください。)
- 急な災害に備え、定期的に水源の水質を検査することをお奨めします。ただし本製品では、一般細菌、大腸菌は除去出来ますが、毒物、重金属等は除去できません。

点検

下記点検項目を随時点検し、必要に応じてお手入れおよび消耗部品の交換を行ってください。

※消耗部品の交換については次ページを参照してください。

主な点検項目

	項目	確認事項	備考
装置本体	全体	外観	漏水などの異常が見られないこと
	手押しポンプ		
	ホース		
浄水器	フィルタ (活性炭+不織布・小)	外観	汚れが見られないこと
	フィルタ (不織布・大)		
MF フィルタ	フィルタ		

※手押しポンプについての詳細は、手押しポンプ（ドラゴン HDS 形）の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本取扱説明書で示す注意事項は起こりうる全ての状態を表記しているものではありません。ご使用される方や保守・点検を行う方は安全には十分な注意をお願いします。

消耗部品の交換

フィルタ（活性炭+不織布小・大、MF）は消耗部品です。定期的に新しいものと交換してください。
また薬液においては使用期限をご確認のうえ、定期的に補充・交換してください。

本装置の積算ろ過性能は原水の水質により大きく変わります。原水水質の悪化などを考慮してフィルタを余分に備蓄・保管されることをお奨めします。

品番	部品名	個数	交換時期	交換の目安
20820950	フィルタ (活性炭+不織布・小)	1	定期交換	水洗いしても汚れや臭いがとれないとき (4本同時に交換してください。)
20821130	フィルタ(不織布・大)	1	定期交換	水洗いしても汚れが落ちないとき
20821710	フィルタ(MF)	1	使用後交換	通水して使用した後
76520110	薬液(15mL) (1%次亜塩素酸ナトリウム)	1	1年	製造年月日から1年経過後(薬液の箱に記載)

※浄水器のフィルタは、下記セット品をお求めになることもできます。

品番	部品名	内容物
20821230	フィルタセット	フィルタ(活性炭+不織布・小):4本、フィルタ(不織布・大):1個

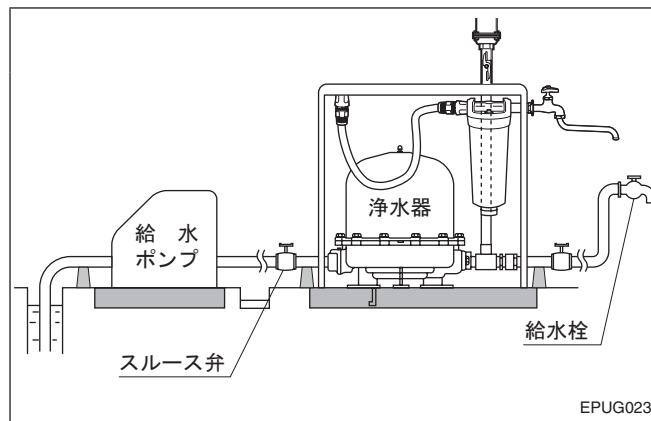
※手押しポンプの交換部品については、手押しポンプ（ドラゴン HDS 形）の取扱説明書をご覧ください。

浄水器のフィルタ交換

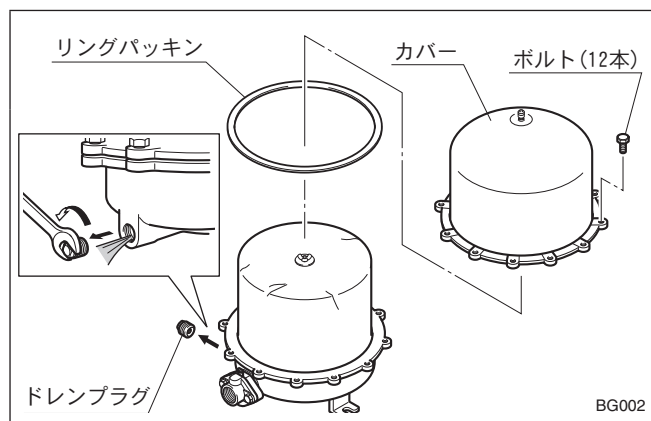
臭いがとれなくなったら、フィルタを4本同時に交換してください。
※使用圧力、温度、水質、使用水量によりフィルタ交換時期が異なります。

1 交換のしかた

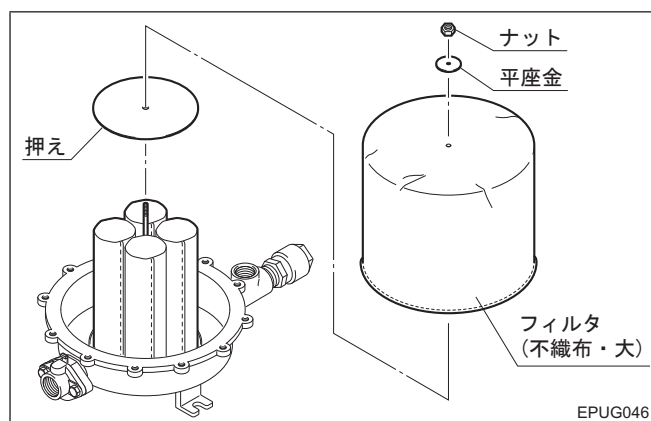
- 1 給水ポンプの電源を切ります。
- 2 スルース弁を閉じてから、給水栓を開いて浄水器内の圧力を下げます。



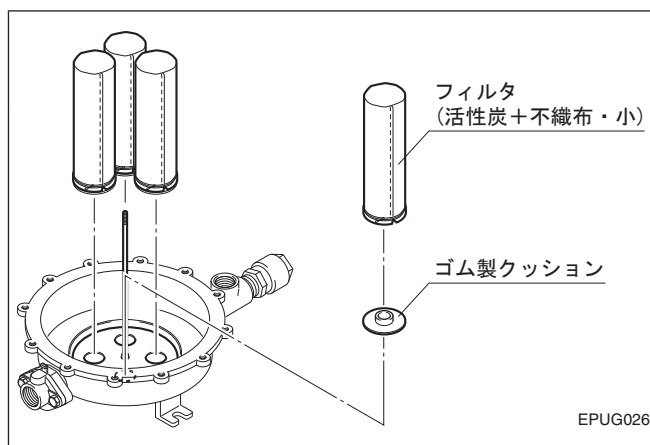
- 3 ドレンプラグを外し、浄水器内の水を排水します。
- 4 ボルト(12本)を外し、保護板を取り外します。
※リングパッキンとボルトは紛失しないよう保管してください。



- 5 ナットを取り外し、平座金、フィルタ（不織布・大）、押えを取り出します。



- 6** フィルタ（活性炭＋不織布・小：4本）を抜き取ります。
- 7** ゴム製クッション（計4個）をフィルタ（活性炭）から取り外します。



- 8** 以下の指示に従って、フィルタの交換または洗浄を行ってください。

においがとれなくなった場合

- ① フィルタ（活性炭＋不織布・小）を4本とも交換してください。
- ② 分解時と逆の手順（7→3）で、浄水器の組立てを行ってください。

水の出が悪い場合

- ① フィルタ（活性炭＋不織布・小：4本）、フィルタ（不織布・大）および洗浄器内部をよく水洗いしてください。

フィルタ（活性炭＋不織布・小）

水を含ませた後、手でもみ洗いして、付着した汚れを洗い落としてください。

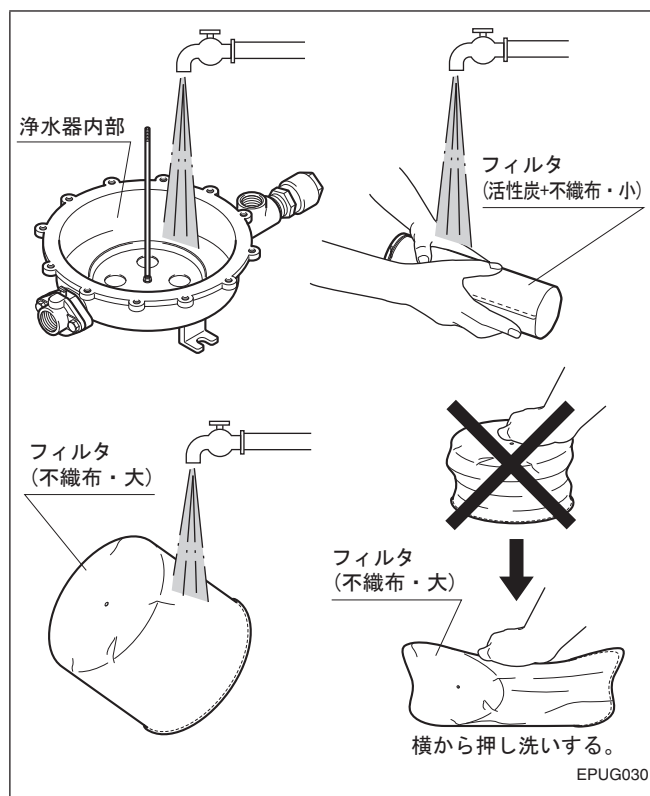
フィルタ（不織布・大）

水を含ませた後、手で押しつけるようにして水を切り、付着した汚れを洗い落としてください。

- ② 分解時と逆の手順（7→3）で、浄水器の組立てを行ってください。

水の出が悪く、フィルタ（活性炭＋不織布・小）を水洗いしても改善されない場合

- ① フィルタ（不織布・大）を交換してください。
- ② 分解時と逆の手順（5→3）で、浄水器の組立てを行ってください。



2 試運転

フィルタの交換を終えたら、浄水器／MFフィルタの排気（P.11 参照）の手順1～6を行ってから本装置を試運転してください。

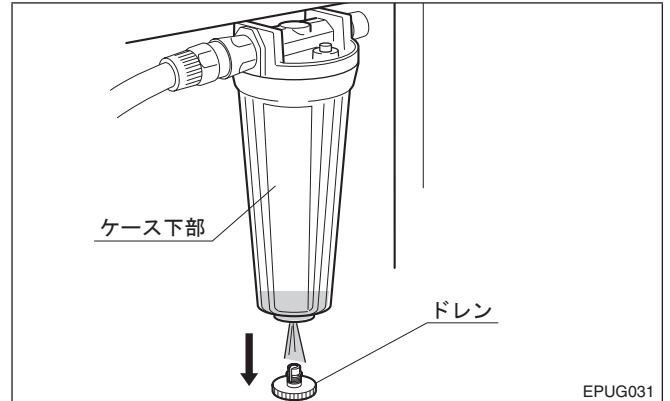
MF フィルタの交換

- ・MF フィルタを使用後、長期間使用する予定がない場合は交換してください。
- ・MF フィルタを常時使用している場合は、水の出が悪くなってきたら交換してください。

1 交換のしかた

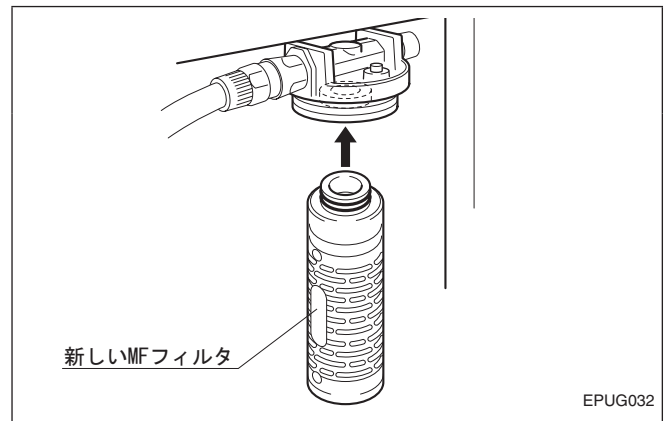
※はじめに、ホースが手押しポンプのボール弁の継手から外れていることを確認してください。

- 1** ドレンを外してケース内の水を抜きます。
※排気をしながら行うと水が抜けやすくなります。(P.11 参照)

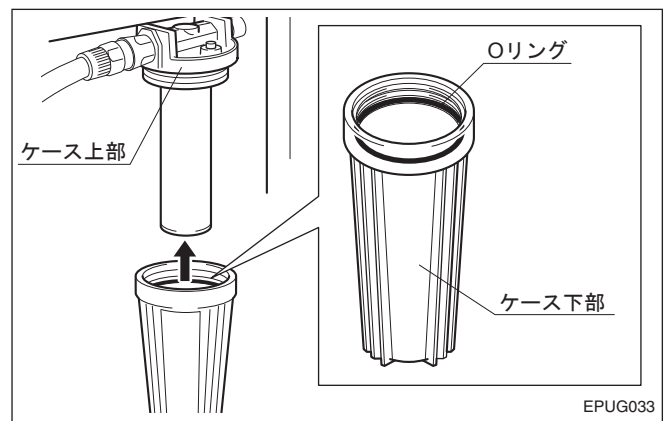


- 2** ケース下部を取り外し、中の MF フィルタを下方へ取り外します。

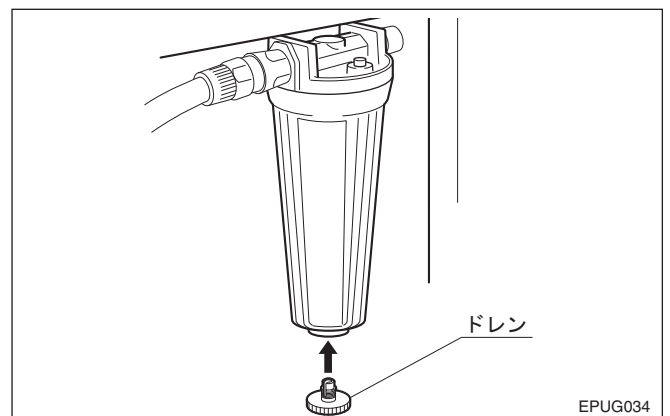
- 3** 新しい MF フィルタをケース上部に取り付けます。
※ケース上部に MF フィルタを取り付ける穴がありますので、そこに MF フィルタ上部 (O リングがある側) を取り付けてください。



- 4** ケース下部の上部の溝に O リングが入っていることを確認し、ケース下部をケース上部に取り付けます。



- 5** ドレンを取り付けます。



故障かな？と思ったら

⚠注意

- 修理技術者以外の方は、フィルタ交換以外の分解・修理・改造を行わないでください。修理に不備があると、故障の原因になります。
- 動かなくなったり異常（コゲ臭いなど）がある場合、直ちに接続している給水ポンプの運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、感電や火災、漏水などの原因になります。

下表の点検項目を実施いただいた後も異常がある場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

※手押しポンプ（ドラゴン HDS 形）取扱説明書の裏表紙に記載の「故障かな？と思ったら」も併せてお読みください。

現象	原因	対策	参照ページ
水が出ない	スルース弁が閉まっている	スルース弁を完全に開く	11
	給水ポンプの電源が入っていない	電源を入れる	—
	フィルタが寿命	フィルタを交換する	20～22
水の出が悪くなった	除去した濁りによるフィルタの目詰まり	フィルタを洗浄または交換する	20～22
	フィルタが寿命	フィルタを交換する	20～22
	スルース弁が完全に開いていない	スルース弁を完全に開く	11
濁った水が出る	フィルタ用クッションの損傷または未装着	クッションを交換または装着する	21
	フィルタ固定用ナットが緩んでいる	ナットを確実にしめる	20
臭いが取れない	フィルタの除去能力低下	フィルタを交換する	20～22
	フィルタ用クッションの損傷または未装着	クッションを交換または装着する	21
	フィルタ固定用ナットが緩んでいる	ナットを確実にしめる	20
	処理流量が多い	50L/min 以内でご使用ください	—
気泡が流出する	浄水器内に空気が溜まっている	エアバルブを開いて完全に空気を抜く	11

故障には予想外なことがあります。異常を発見したら速やかに対策することが大切です。故障の原因が分からないときは、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、製品の形式、製造番号、故障（異常）の状況をお知らせください。

製品仕様

△注意

- 異常がある場合は、事故防止のため、使用を中止してご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に必ず点検・修理を依頼してください。

名称	家庭用緊急浄化装置
愛称	レスキューエース
形式	EPUG25
品番	M5011000
水源	井戸水
液質	pH5.8~8.6、砂(細砂0.3mm以下)の含有量50mg/L以下
液温	5~40℃(凍結なきこと)
最大使用圧力	0.28MPa
製品質量	47kg

		取水ポンプにて取水の場合 (自動/雑用)	手押しポンプにて取水の場合 (災害・停電時/飲用・雑用)
口径	吸込口径	25mm	
	吐出口径	20mm、ボール弁	給水栓、ボール弁
吸込条件		※1	吸上全揚程：- 8m 以内
揚水量			10L/min
ろ過性能	浄水器 (MRK2-25)	処理水量	10~40L (最大 50L)
		濁度ろ過性能	300度・m ³
	MF フィルタ	ろ過精度	-
薬液		-	公称孔径：0.1 μm 1%薬液「ピュア」：点滴液

※1：使用する給水ポンプにより異なります。



コンフォート アース

Comfort Earth® 水を通じて 地球環境を 考える

株式会社 川本製作所 <http://www.kawamoto.co.jp>

本社 〒460-8650 名古屋市中区大須4-11
TEL (052)251-7171 (代)

岡崎工場 〒444-8530 岡崎市橋目町御領田1
TEL (0564)31-4191 (代)

検査合格証
株式会社 川本製作所

